

1. 評価結果概要表

平成19年 10月 20日

【評価実施概要】

事業所番号	2070400193
法人名	社会福祉法人サン・ビジョン
事業所名	グループホームグレイスフル岡谷
所在地	長野県岡谷市湖畔2丁目6-2 (電話) 0266-21-7321

評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成19年9月13日	評価確定日	平成19年12月25日

【情報提供票より】(19年 8月 24日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 5月 7日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤6人	非常勤1人 常勤換算6.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	2 階建ての	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	300 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 円
	または1日当たり		円

(4) 利用者の概要 (8月 24日 現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	3名	要介護2	5名
要介護3	1名	要介護4	
要介護5		要支援2	
年齢	平均 86 歳	最低 68 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	市立岡谷病院 今井内科胃腸科クリニック
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームグレイスフル岡谷は、社会福祉法人サン・ビジョンが経営するグループホームの一つである。現在、同法人は長野県内で6つのグループホームを管理・運営しているが、グレイスフル岡谷は4番目に設置された6年目のホームである。したがって、当ホームの運営には、法人組織におけるこれまでの複数のホーム運営の蓄積が十分に活かされている。特にサービスの質については、利用者の生活の安全確保のために各種マニュアルを整備し、ISOを取得するなど、その組織的な取り組みは際立っている。サービスの質をよりよいものにしていく姿勢は、法人組織全体としての方針遵守のしくみだけでなく、当ホーム独自のサービスのあり方を常に模索する職員の姿に見ることができる。毎日の生活の予定を利用者自身が選択・実行できるような取り組みに力を入れ、日々臨機応変なケアにも心がけている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>① 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価において指摘された入浴時間の定時・固定化については、利用者の希望にできるだけそえるよう業務分担の見直しを行い、より柔軟に対応できるように改善されていた。評価結果を真摯に受けとめ改善に結びつけるよう努力している。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価において指摘された項目以外においても、さらによりサービスの提供ができるよう入念に自己評価にとりくんでいる。地域密着型サービスとしての役割を担っていく姿勢が随所に認められる。</p>
	<p>重点項目②</p> <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月に1度、運営推進会議を開催し、参加者や家族、利用者様の意見を参考にし、サービス向上の取り組みを行っている。具体的には、会議でだされた意見をもとに、事業所新聞のカラー化を実施している。会議への参加者の幅を広げより多くの意見を取り入れられるよう努めていく予定もある。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族にアンケート調査を実施したり、第三者委員、介護相談専門員の訪問などの苦情解決の仕組みをの周知を図ることで、家族の意見を把握し、さらにその意見に基づき、ホームのサービスの改善につなげることができるよう努力している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>諏訪湖周辺の清掃をはじめ、地域の行事に積極的に参加したり、施設の行事にも参加していただくよう回覧板を通して広報している。隣近所へは直接ちらしを持っていっているなど、地域との関係づくりにも努力している。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営法人の理念に基づいてグループホーム独自の理念を作成し、事務所に掲示している。今後も継続して実施し、地域のニーズに沿った運営を心がけていく方針である。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	法人の理念を事務所に張り出し、申し送り時に職員で唱和をしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	諏訪湖周辺の清掃をはじめ、地域の行事に積極的に参加したり、施設の行事にも参加していただくよう回覧板を通して広報している。隣近所へは直接ちらしを持っていっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価において指摘された入浴時間の定時・固定化については、利用者の希望にできるだけそえるよう業務分担の見直しを行い、より柔軟に対応できるように改善されていた。		

グループホームグレイスフル岡谷

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、運営推進会議を開催し、参加者や家族、利用者様の意見を参考にし、サービス向上の取り組みを行っている。具体的には、会議でだされた意見をもとに、事業所新聞のカラー化を実施している。会議への参加者の幅を広げより多くの意見を取り入れられるよう努めていく予定もある。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者からボランティアや他の社会資源についての情報を収集している。また、市からは認知症介護教室の委託を受け、認知症に関する地域住民への理解に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、「だるま便り」を発行・送付し、利用者の生活の様子を伝えている。日々の記録集を個々に作成しご家族にお知らせできるようにすることも予定している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族にアンケート調査を実施したり、第3者委員、介護相談専門員の訪問などの苦情解決の仕組みをの周知を図ることで、家族の意見を把握し、さらにその意見に基づき、ホームのサービスの改善につなげることができるよう努力している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	同法人内におけるホーム間での異動があるが、その際には、利用者の精神的不安を引き起こすことがないように配慮している。実際、過去の異動の際には、職員からの接し方に配慮し自然な形で職員の入れ替えを行うことができている。		

グループホームグレイスフル岡谷

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自主性を尊重した法人内外の勉強会への参加の促進を行っている。海外での研修の機会も確保されており、職員の意識改革についても一定以上の予算が投入されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同法人内のグループホーム間の交換研修については、サービスの標準化もされているため、スムーズに行われている。他法人の同業施設との交流については、受け入れ側との調整が難しいが、見学等に行く予定はある。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	併設(1階)のデイサービス利用をすすめたり、見学の機会を頻繁にに設けるなどしている。実際にデイサービス利用からホーム利用へと移行したケースもある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に家事を行い、食卓に付くことで会話の機会を増やす努力をしている。その他、洗濯、庭の手入れ、金魚の世話など、利用者にとできることについて、共に行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「利用者のつぶやき」という形式により、日常の中で利用者が何気なく発している言葉などに注目して記録し、それに基づき、利用者が持っていると思われる意見、不満、苦情を毎月職員間で挙げ、会議等で対応策を検討し、実践している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ライフマップと呼ばれる利用者の生活歴を視覚化した情報に基づき、その人らしい生活のあり方を模索しながら、利用者および家族の意見を取り入れ、作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3ヶ月ごとに見直しを行っている。計画が本人のニーズに合致していない場合には、計画書の見直しを行っている。計画の変更は、利用者、家族の意向に沿って提案され、会議にて検討している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の意向に応じて、一階に併設されているデイサービス利用者との交流をしたり、デイサービスの設備を活用して、余暇活動の支援を行っている。		

グループホームグレイスフル岡谷

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地域のより近隣の医療機関と関係を築き、受診の支援を行っている。かかりつけ医は積極的に往診に応じるなど協力体制は適切に確保されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の対応のあり方については、家族との話し合いが十分に持たれている。一方、終末期の対応のあり方については、明確な方針はない。	○	地域密着型サービスとして、終末期ケアのあり方に関する方針を何らかの形式で、明確にしておくことが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	同法人内の事業所間で情報を共有しながら言葉掛けや対応を検討、実施している。マニュアルを整備し個人情報記載の書類は施錠可能なロッカーへ保管し、PCのログオン時のパスワードロックを義務化している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各人の日課版が作成・掲示されており、毎日、利用者自身が1日の計画を自分で立てられるように、活用されている。利用者の意思が尊重されるよう、また、職員が今以上に個別に関ることができるよう、職員配置、分担の見直しも検討されている。		

グループホームグレイスフル岡谷

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立はその日の利用者の気分や希望で臨機応変に変更し、自らの意思で準備、片付け出来るように配慮している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴好きな方には毎日でも入浴していただき、拒否のある方には、午前・午後と声掛けを行い無理なく入浴していただいている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ライフマップ(利用者の生活歴を視覚化した情報)、プロフィール表を活用し、個々の生活歴、趣味を尊重し、自ら好きなことを行えるような支援に配慮している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	計画された日常的な散歩や1日の食材の買い物のほか、予定外のドライブの要望等についても、希望に沿って外出している。外出計画は偏りが無いようチェック表を元に、公平性にも配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の安全確保を最優先としながらも、利用者自身がいつでも、自由に各居室に入出りできるような環境作りに努めている。		

グループホームグレイスフル岡谷

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月利用者を交えた防災訓練を行っている。また、災害時の近隣住民による協力体制も整えている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事量については申し送りで確認し、栄養バランスは同法人の栄養士の献立チェックによって確認することで、食事サービスの質の確保している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カレンダーや、季節の造花を随所に設置し、季節感を出している。食堂から見えるテラスに草花やプランターを設置し、季節の花や手入れを楽しんでいただいている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、極力使い慣れた衣類・家具などを配置していただけるよう家族と相談し、入居後のプレゼントや誕生日カードなどを居室に飾っている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。